

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 日本歯科大学 小出 鑿 教授

大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学主任教授
新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座主任教授

2. 演 題 頸口腔機能の診断と治療

3. 日 時 平成29年1月18日(水)

17時30分～19時30分(時間変更)

4. 場 所 7号館(歯学部校舎棟) 第3講義室

5. 内 容

歯科だけが行える咬合治療は頸関節と密接に関連し、頸口腔系の重要な機能、すなわち咀嚼、嚥下、呼吸、発音、口腔感覚、審美、姿勢維持、身体運動能力などばかりでなく、全身の健康維持・増進にも大きく影響を及ぼす極めて重要な要素です。

そして、咬合治療を実際に行う歯科医師が、十分に認識しておかなければならぬ重要な事項は、頸関節との調和をみだす咬合治療を行ったとしても、直後には顕著な徵候は現われず、治療後数ヶ月～1年以上経過してから頸関節や筋、そして全身の様々な症状や障害となって発現していくケースが多いことです。私達歯科医師には、専門領域である咬合と頸関節と筋に関する十分な理解と治療内容の更なる高度化が強く求められています。

今回の特別講義では、頸関節と咀嚼系筋群の診断基準、頸関節のCompressionと咀嚼系筋群のEngramへの対処、頸関節症の各種病態への効果的な対応、体位や頭位が下顎位と咬合に及ぼす影響など、私たち歯科医師が日々の臨床でおさえておくべき咬合と頸関節に関する重要事項を、なるべく臨床に即して具体的にお示します。どうぞ宜しくお願ひします。

連絡先 中禮(ちゅうれい)(スポーツ医歯学分野 内線5867)